

第10回

日本バイオベンチャー大賞

日本バイオベンチャー奨励賞

株式会社J-ARM

2006年名古屋大学発ベンチャー企業として発足し、「再生医療を当たり前の治療にすること」を目標に、獣医療でいち早く普及啓発を行ってきた。獣医療でも薬事法の規制を受けるため獣医師主導型臨床研究として主治医が調整・投与することが大原則である。そのため、培養に不慣れな臨床獣医師でも自らの動物病院へ再生医療を導入できるよう培養機器の選定、院内スタッフへの培養トレーニング、目的に応じた作業手順書の提供、培養キットの販売、培養に関するトラブルシューティングなど、総合的なコンサルティングを行っている。

11年目となる今年、弊社培養キットを用いたがん免疫療法・幹細胞療法の犬猫投与実績は18000投与を超えた。2015年7月にはDSファーマアニマルヘルス株式会社と犬間葉系幹細胞を用いた細胞医薬品の早期製造販売承認取得を目指すための共同臨床開発契約を締結しており、実現すれば世界初となる動物用細胞医薬品となる。

2017年度には、ペットに向けた最先端医療ニーズが急増している中国・韓国・タイなどのアジアへ獣医再生医療を支援するビジネスをスタートする。

アンメットメディカルニーズに応えるべく、飼い主・獣医師と真摯に向き合い、再生医療の発展のため走り続ける。

間葉系幹細胞 (MSC・ADSC) 療法の流れ

自らの細胞を用いて、病気を治療する



活性化リンパ球 (CAT) 療法の流れ

がん三大治療の補助療法として



会社概要

設立 2006年4月
 本社 〒545-0042 大阪府大阪市阿倍野区丸山通1-6-1
 TEL : 06-7890-5959
 資本金 1億6,315万円
 代表取締役社長 岡田 邦彦 氏